

## 意見等の内容とそれに対する宇治市の考え方

No.	区分	ご意見の内容（要約）	ご意見に対する宇治市の考え方	修正の有無
1	全般	少しでも必要な人に家が循環する仕組みがあればもっと市が活性化すると感じている。	空き家を活用することは、空き家対策において重要なテーマと考えており、これまでから空き家の利活用に繋がる施策に取り組んでおります。今後も、本計画に基づき、流通していない空き家の利活用に繋がる多様な施策に取り組んでまいります。	修正なし
2	宇治市の空き家を取り巻く現状と課題	19ページ「空き家の相談件数における相談者」 空き家の相談件数における相談者とは、空き家所有者か、近隣住民か。	空き家の相談件数は、空き家等でお困りの近隣住民等からの相談件数であることから「空き家等に関する」を「管理不全な空き家等でお困りの近隣住民等からの」に修正いたします。	修正あり
3	宇治市の空き家を取り巻く現状と課題	19ページ 相談以外に空き家を発見する方法があるのかどうか。	これまでは、近隣住民等からの相談を受けて空き家を把握していましたが、本計画では、新たに空き家を把握する方法として、LINE等を活用した連絡システムの構築に取り組むこととしています。	修正なし
4	宇治市の空き家を取り巻く現状と課題	21ページ「宇治市における空き家等の特徴と課題」 地域コミュニティの希薄化による地域の活力の低下が指摘されていますが、空き家問題だけでなく福祉や防災、防犯も課題になっていると思う。	地域の活力低下は、ご指摘のように様々な要因によって生じるものと考えています。本計画は、その要因の一つである空き家に係る課題解決に向けて策定するものです。	修正なし
5	空き家等対策のテーマと方向性	26ページ「①空き家等の発見・情報把握」 LINEを活用した連絡システムの構築とあるが、空き家等を発見するのは高齢の方が多いと思うので、手間や時間がかかっても電話や対面で相談を受ける体制も備えた方がよいのでは。	従来の電話や対面でご相談を受ける体制は継続することから「窓口や電話でのご相談に加え、」を追記いたします。	修正あり
6	計画の進捗管理と実施体制	34ページ「成果指標」 出前講座等の啓発事業の実施件数目標値が年10件は少なすぎるのでは。目標設定を上げてほしい。	これまで出前講座等の開催件数の実績は年間1.3件であったところ、本計画の目標値を年10件としています。今後、達成状況に応じて適宜見直しいたします。	修正なし

No.	区分	ご意見の内容（要約）	ご意見に対する宇治市の考え方	修正の有無
7	その他	市が委託した団体が空き家について仲介業務や売買などを相談する制度を作ってほしい。ワンストップなら尚良い。	宇治市に登録している宅地建物取引士を派遣する空き家等アドバイザー制度を実施しており、今後も継続してまいります。なお、初回は無料となります。	修正なし
8	その他	宇治市に住むことを条件とし、空き家のリフォームや、空き家の利活用する際に必要となる法的な手続き、それに係る税金についてなど、様々な相談を受けられる仕組みを作ってほしい。若い世帯や低所得世帯が宇治市に住みやすくなり、移住者誘致にもなる。	司法書士、建築士、宅地建物取引士が、専門的な見地から個別にご相談を受ける空き家等無料相談会を実施しており、今後も継続してまいります。	修正なし
9	その他	空き家を活用してお試しで宇治市に住んでもらうための格安宿泊所として開業するのもよいと思う。	いただいたご意見は、本計画策定後に施策を検討していく中で参考にさせていただきます。	修正なし
10	その他	高齢者のみの世帯が増加しているのなら、空き家を拠点にした引きこもり防止の居場所機能のある「高齢者版ファミリーサポートセンター」を運営できないか。		修正なし
11	その他	宇治市が空き家を買ってリフォームし、障害者や高齢者を対象にした生活、自立訓練などを行う場所として活用しては。支援や介護が必要な方には、市と施設が連携して各施設がデイと夜勤により支援すれば空き家の活用、障害者の支援、高齢者の見守りにつながる。安価な家賃で居場所づくりの活用が見込まれる。		修正なし